

報道機関各位

沖縄県立博物館・美術館 管理事務所

県内各地の船大工のワザが一堂に

沖縄の船 サバニ 過去・現在・未来

Okinawan boat -SABANI- Past, Present, and Future

沖縄県立博物館・美術館（おきみゆー）は4月20日（火）から「沖縄の船 サバニ —過去・現在・未来—」（主催：一般財団法人沖縄美ら島財団）を開催いたします。（会期 6月27日まで）

沖縄を代表する伝統的な小型木造漁船「サバニ」。サバニはもともと一本の木を削りぬいて作ったマルキンニ（丸木舟）でしたが、明治時代に材木を接ぎ合わせたハギンニ（接ぎ船）が登場し、糸満漁民が活躍する原動力になりました。

本展ではこの度調査の一環で建造された奥武島のサバニをはじめ、西表島や石垣島、伊江島など県内各地から実物のマルキンニ1隻とサバニ5隻、関連資料を展示し、サバニの歴史を紹介します。奥武島のサバニについては、その工程に密着したドキュメンタリー映像を上映し、県内に2名しかいない伝統的な造船技術を継承している祖父と、その孫によるサバニづくりを紹介します。その他、糸満市指定民俗文化財（有形）であるミーカガン（水中メガネ）とその製作用具なども展示します。

《マスコミ関係者向け展示解説会》

日時：4月20日（火）①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～

※感染症防止のため各回5組までとさせていただきます。

場所：沖縄県立博物館・美術館 3F博物館特別展示室2

講師：板井 英伸（一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター）

■コロナ対策について

1. 発熱（37.5度以上）や体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
2. 当日、来館までに検温を必ず行ってください。
3. 来館の際にはマスク着用、手指の消毒をお願いします。
4. 展示室内では密にならないようご配慮をお願いします。



製作用具
 糸満市指定民俗文化財（有形）
 《NPO 法人ハマスーキ蔵》



ミーカガン（水中メガネ）
 糸満市指定民俗文化財（有形）
 《NPO 法人ハマスーキ蔵》

〈概要〉

展覧会名：令和3年度 一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター企画展
「沖縄の船 サバニ ―過去・現在・未来―」

会 期：2021年4月20日（火）～6月27日（日）

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団

場 所：沖縄県立博物館・美術館 3F博物館特別展示室2

観 覧 料：一般／500円（400円）、高・大／300円（240円）、小・中／250円（200円）
（ ）内は20名以上の団体料金

開館時間：9:00～18:00（金・土は20:00）

休 館 日：毎週月曜日、5月6日（木）※5月3日は開館

〈関連催事〉

1. 展示ガイドツアー

日 時：5月16日（日）《1回目》10:00～11:30 《2回目》15:00～16:30

場 所：3F 博物館特別展示室2（サバニ展会場）

対 象：高校生以上 定員 各回10名（要事前申込。来館・電話にて）

参加費：無料 ※当日有効のサバニ展観覧券が必要です。

講 師：板井 英伸（一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター）

2. 講演会「サバニと文化財」

日 時：6月6日（日）15:00～17:00

場 所：1F 博物館講座室

対 象：高校生以上

定 員：50名 ※事前申込制（来館・電話）

参加費：500円（資料代として）

講 師：板井 英伸（一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター）

※ 広報用画像をご希望の方は ms-kinjo@okichura.jp へご連絡下さい。

〈お問い合わせ先〉

沖縄県立博物館・美術館指定管理者（一財）沖縄美ら島財団

企画班 広報営業担当（金城・福治）TEL 098-941-1232/FAX 098-941-2392